

目次

大会プログラム	p. 4
招待講演者・研究発表者・シンポジウムパネリスト紹介	p. 4
I. 研究発表	
小山哲春「ポライトネスのストラテジーとしての日本語文末表現」	p. 4
申 惠環「日本人の待遇表現に見られる場の影響と、聞き手に合わせた敬語行動の特徴」	p. 11
Ruth Vanbaelen「男性同性愛者のことばづかい——インタビューの分析を中心に」	p. 17
ポリリー・ザトラウスキー「初対面の会話における話題を作り上げる言語・非言語行動の分析」	p. 23
宮田 Susanne・西澤弘行「あいづち行動の獲得と消失(1)」	p. 29
宮田 Susanne・西澤弘行「あいづち行動の獲得と消失(2)」	p. 34
武黒麻紀子「文化固有なコミュニケーションの慣習と言語的アイデオロギー」	p. 40
中島玲子・渡辺繭「日本歌謡曲の〈サウンド志向〉と日本語のリズム的変容に関する一考察」	p. 46
辻 大介「現代美術の語用論試論」	p. 52
岡本雅史「コンテクスト変換としての発話理解」	p. 58
高橋 潔「日本文化キー・ワード概念にからむ語用論」	p. 64
高橋秀彰「標準語と標準変種——ドイツ語の言語計画とその問題」	p. 70
安田和彦「インドネシアにおける国家危機報道と言語」	p. 76
小谷佳代「The Quantitative Study of Attractive Voices to Japanese and Americans」	p. 81
湯川純幸「言語とジェンダー研究への人類言語学的アプローチ」	p. 82
川上伊都子「Gender Socialization——日本語におけるジェンダーに基づく言語の発達」	p. 86
浜崎なおみ・白井純子・白井英俊・古田嘉照・渡邊欣一・菊池隆典・木畑典子 「幼児の『聞き返し』の連続」	p. 92
II. 招待講演・シンポジウム	
Nick Campbell「コンピュータとの対話——マルチメディア時代の声による情報」	p. 99
片桐恭弘「シンポジウム 『ホンヤク』と言葉の社会性」開催趣旨	p.100
辻井潤一「現在の機械翻訳システムと言葉の社会性について」	p.100
酒井洋子「文芸翻訳における社会性への対応——現場からの一報告」	p.100
III. 付録	
社会言語科学学会会員募集のお知らせ	p.109
次回(第3回)研究大会の予定と発表募集のお知らせ	p.110
夏のワークショップ98のお知らせ	p.110
学会誌『社会言語科学』原稿募集・特集のお知らせ	p.110
学会誌『社会言語科学』編集規定・投稿規定・執筆要項	p.110